

校長室だより



あきらめない心を育てたい

イタリアミラノの地で開催されている冬季オリンピック。早起きして、リアルタイムに観戦して、リアルに感動を味わう日々が続いています。（少し寝不足気味ですが・・・）

ハーフパイプの平野歩夢選手、ジャンプの高梨沙羅選手、スピードスケートの高木美帆選手、モーグルの堀島行真選手、何度も何度も自分の目標に向かって果敢にチャレンジする姿、どんな逆境に立たされても黙々と努力して立ち向かってきた4年間に感動しかありません。そして、昨日早朝のりくりゅうペアのフリー演技。世界最高得点での大逆転の金メダルにきっと誰もが感動したことでしょう。まるで、自分が滑っているかのような錯覚とドキドキする緊張感、見るものも引き込んでいく演技でした。もうだめだと前日の自分のミスを引きずり、切り替えができない木原選手に「大丈夫、私たちには積み重ねてきたものがある」と言ったと聞きました。努力は裏切らない。それを証明した演技でした。毎日のように、テレビの前で、自分にもできるのではないかと居間でジャンプするのですがやっぱり無理か、すごいなと現実に戻る。そんな毎日を楽しませていただいている。

ハーフパイプの第一人者で絶対的王者と言われたショーンホワイト選手が大けがをおして出場し、決勝の舞台に進んだ平野歩夢選手について、「失敗は誰にでもある。倒れた後どう立ち直るか。どう歩んでいくかです。」と答えていました。その平野選手は決勝後、「生きていてよかった。また、一つずつ積み重ねていきます。」と優しい笑顔で答えていました。4年前の同じ舞台で、彼は金メダルを手にしても険しい顔つきでした。自分の最高の演技を目指しているからこそその顔つきでした。その彼を変えたのは、家族の存在。守るべきもの、支えてくれる家族のために「生きていてよかった」という言葉が出てきた、そう思います。平野選手に憧れ、追いつこうと頑張ってきた、同じハーフパイプに出場した若い選手たちは、レース前でも彼はもくもくと基礎練習を繰り返す。いつでも同じ基礎練習を。それが彼の強さだと日本のレジェンドを尊敬する。「これからまた一つずつ積み重ねていきます」その言葉どおりにまた、さらにこつこつと努力し、さらに強くなつて4年後の舞台に戻ってくれるだろう。

外国の選手は、大雪が降って、コンディションが悪いと分かると、さっさと練習をやめて帰ってしまうが、日本の選手はその時その場でできることを考えて、黙々と練習するという。日本人のよさ、勤勉さ、努力する様子が見えてくる。りくりゅうペアの木原選手が「あきらめなくてよかった」と表彰式後のインタビューで答えたことつながっていると感じる。

松原小でも、たくさんのチャレンジする姿が見られます。なわとび週間からずっと毎日練習を続けている1年生が二重跳びや前跳びを何十回も跳べるようになりました。毎日のように「見て見て」と言っています。続けることって大事だなと子どもたちからあらためて学びます。竹馬や一輪車にチャレンジしている子も手放しで運動場を横切れるようになったと笑顔いっぱいで教えて見せてくれます。そしてそして、児童会の選挙にチャレンジしている子どもたち。応援してくれる仲間と一緒に大きなチャレンジです。廊下に聞こえてくるリコーダーの音色や合唱の歌声、送る会に向けての練習もみんなみんな松原っ子のチャレンジです。みんなの目指すものに近づけますように・・・応援しています。結果ではなく、その道のりをほめてあげたい。そう思います。ぜひ、ご家庭でも「がんばってね。うれしいよ。」の声かけをお願いします。

ミラノ・コルティナオリンピックもあと数日となりました。明日早朝の女子フリー決勝も楽しみです。今日のショートのように、のびのび笑顔で滑り切ってほしいです。

まつばら水泳教室 ありがとうございました

2月7日（土）、サンフロッグ春日井の温水プールで、まつばら水泳教室を開催しました。インフルエンザが流行っている時期、しかもとても寒い日だったので、みんな来てくれるかなと心配しましたが、申し込みした子がみんな来てくれてうれしかったです。講師の先生たちの話をよく聞いて、やってみようとする姿勢、できた時の笑顔や歓声がプールサイドに響いていました。休日の温水プールに学校の先生たちがいて、一緒にプールに入る経験ってなかなかできない経験です。学校のプールを使っての水泳の授業がなくなって久しぶりにプールに入って、がんばる子どもたちのようすを間近で見ることができて、私はわくわくしました。送迎や水着の準備等、ありがとうございました。



一言もききもらさずに

○コーチの話が面白かったです。手を伸ばして壁を蹴って進んだら赤い線を越えて嬉しかった。

○本物から教えてもらった水泳は、楽しくて、バタ足が、上手くなった気がします。

○25mを平泳ぎで泳げた。前よりうまくなったと思う。

○習い事のスイミングでは得られない、細やかな指導をありがとうございました。とても分かりやすく、見応え&聞き応えがありました。最後の子供達との競泳は、見えていてもドキドキして楽しかったです。○また、宮脇先生や、新山先生に、水泳を教えてもらいたいです。

○貴重な体験をありがとうございました。休日の午前中、有意義な時間になり、娘も母も嬉しく思います。○また一緒にプールに入りたい。

○苦手な平泳ぎですが、分かりやすいご指導だったようで、やる気スイッチが入ったようです！

○子どもたちが楽しそうに取り組んでいて、みているこちらも楽しくなりました。先生方の見本をみんなキラキラした目で見ていて、「本物」に触れられる機会は本当に貴重だと思いました。松原小の先生方がいてくださったことで、我が子も安心して参加することができました。素敵な機会を作っていただき、ありがとうございました。

○プロの方から教えて頂ける貴重な時間をありがとうございました。色々な体験をさせてあげたいと思いながらも中々動けてないので、この様な機会を作って頂き有難いです。

送る会に向けて

26日の本番に向けて、どの学年も練習をがんばっています。朝の会や帰りの会の時間には、学校中から呼びかけや歌声が聞こえてきて、仕上がってきていることを感じます。学年やクラスの友だちと協力して、6年生への「ありがとう」の気持ちをいろいろな形で表現して、伝えてほしいと願っています。また、24日には、見守りの方々への感謝の会もあります。「ありがとう」の気持ちを伝えていきましょう。松原っ子ルームに感謝のメッセージが入っていました。

○とても寒いのに朝早くから来て見守りや挨拶をしてくれてありがとうございます。

ほかにも、きっとたくさんのメッセージが届いていることでしょう。伝えること、大事です。勇気を出して、伝えていこう。応援しています。

児童会では、「スマイルの木」をありがとうメッセージでいっぱいにしようの活動が始まりました。ありがとうの桜の花びらがどんどん増えて、満開になるといいですね。



スマイルの木

「何事にもチャレンジし自分らしく学び続ける子」「自分も相手も大切にして正しく行動できる子」